

商店街活性化事業計画の概要

地域

千葉県柏市

認定日

平成23年7月20日

事業名: エリア・リンクが『まちの魅力』を高める柏駅東口中央商業エリア 活性化事業

事業者名: 協同組合 柏駅東口中央商店街連合(千葉県柏市)

事業実施期間: 平成23年7月～平成27年3月

■商店街活性化事業の概要

- 地域住民が求める「おしゃれなまち」をコンセプトに掲げ、商店街と駅の連結部に新たな拠点となる商店街広場を整備。多世代が交流できるコミュニティスペースとして来街者がくつろぎ、まちを楽しむことのできる空間を提供する。また、商店街広場では、オープンカフェ事業を展開し、軽食等を提供することで長時間商店街に滞在できる環境を整備する。さらに、地元のNPO法人等、様々な組織と連携しながら、商店街広場等をステージとした音楽祭や朝市等を実施する。

■商店街活性化事業の内容

◆地域住民ニーズ

- アンケート調査によると、商店街に休憩場所がないことへの不満から、オープンカフェや広場空間設置のニーズが高い。イベントについては、音楽イベントから朝市等に至るまで多様な要望が出されている。また、商店街の店舗情報やイベント情報等の情報発信が集約されていないことが課題として挙げられる。

◆実施計画の主な内容

・商店街広場整備事業

新たな拠点となる商店街広場を整備。4つの商店街と駅の連結部のスペースをそれぞれ改修し、バリアフリー構造の石張り・ウッドデッキ舗装を行う。移動式のトレーラーハウスによるオープンカフェを設けるとともに、イベント事業のステージ等として活用する。

・新規イベント事業

商店街広場等をイベントステージとして活用し、月替わりでイベントを実施。具体的には、地元農業者と連携した朝市・夕市、商店街を回遊する飲食店の食べ歩きイベント、地元音楽団体に発表の場を提供する音楽イベント等を開催する。

・情報発信機能の強化

柏駅前エリアにLED型照明サインを設置。来街者の安全・安心を確保するとともに、来街者のニーズに応じた商店街情報やイベント情報等を発信し、商店街エリアへの回遊性の向上を図る。

■商店街活性化事業計画の目標

商店街の歩行者通行量を事業計画終了時に平成22年と比較して約5%の増加を目指す。

(サンサン通り 平成22年 平日3,909人/日 → 平成26年 平日4,100人/日)

(駅前通り 平成22年 平日35,814人/日 → 平成26年 平日37,600人/日)

(柏二番街 平成22年 平日29,067人/日 → 平成26年 平日30,500人/日)

【柏駅前通り商店会】



【柏二番街商店会】



【イベント(アートラインかしわ)の様子】

